

# ホッケー競技を ご存じですか？

ホッケー競技は、スピーディなゲーム展開、華麗なドリブルやパスワーク、豪快なシュートが魅力です。

1981年の第36回国民体育大会(びわこ国体)で米原市がホッケー競技の会場となり、米原市にホッケーが根付きました。現在では男女あわせて10名が日本代表候補となるなど、多くの滋賀県出身選手が活躍しています。



## ホッケー競技とは

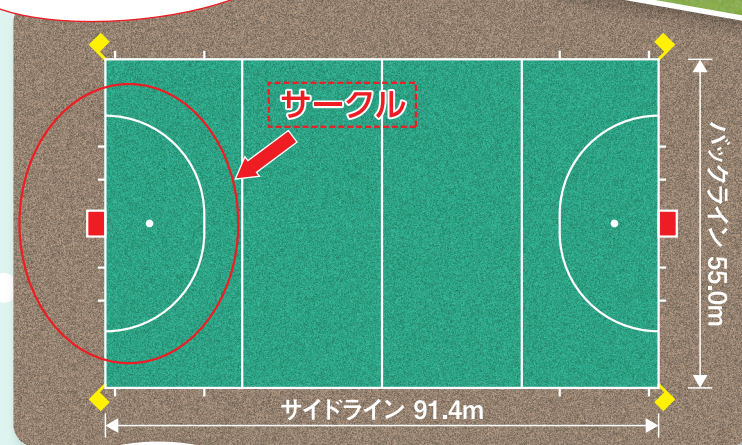
日本では小学生～中学生、またマスターズ(40歳以上の男子、35歳以上の女子)は6人制、高校生～社会人は11人制をメインに行います。70歳以上の方が参加するマスターズ大会も開催されるなど多くの方が楽しむことができます。

## フィールド

11人制はバックライン55m、サイドライン91.4mの長方形で、サッカーのフィールドと比べるとひとまわり小さいです。

6人制だとバックライン30m、サイドライン55m。ゴールはハンドボールとほぼ同じ大きさで、「サークル」と呼ばれるシューティングゾーンの中から打たれたシュートでないと得点は認められません。

また天然芝ではなく人工芝で、摩擦を減らしてボールスピードを速くしたりケガを予防するため試合前やハーフタイムにフィールド全体に水をまきます。



## 試合時間

11人制は、主に15分の4クォーター制(計60分)でクォーター間は2分、2Q終了後は10分間のハーフタイムがあります。

6人制では、10～15分の前後半制でハーフタイムは5分程度。

## 選手交代と審判

同じ選手が何度でも自由に交代できるためスピーディな試合が展開されます。

主審は2人で、その他、ゴールに関わる部分だけをチェックし主審の判定をサポートするサジェスチョンアンパイア、トップレベルの国際試合ではビデオアンパイアの導入が進むなど、ゲーム展開の速さを物語ります。

肉眼では判断できないものはビデオアンパイアでジャッジ!



## ホッケー競技の道具

《スティック》近年はカーボンやグラスファイバーなどの素材でできたものが主流で、木製のものより反発力や耐久性が高い。

《ボール》大きさ・硬さは野球の硬球とほぼ同じ。

《すね当て》フィールドプレイヤーのすねを守る。

※他にもフィールドプレイヤーを守る道具にグローブ、マウスピース、ペナルティコーナー用のフェイスガードなどがあります。

《キーパー防具》キーパーは頭からつま先まで完全装備。見た目はアイスホッケー選手。



## 基本的な反則

《バックスティック》スティックには平らな面と丸い面があり、平らな面とその側面しかボールを扱うことができません。

《インターフェア》スティックで相手のスティックや体をたたいたり押さえたりしてはいけません。

《フット》スティック以外でボールを扱ってはいけません。手、足、体を含めてフット。

《デンジャラス》危険なプレーや、シュート以外で近くにいる選手の上半身付近を通るような危険なボールを打ってはいけません。



## 見どころ ペナルティコーナー

ホッケーで最も得点の確率が高く特徴的なセットプレー。守備側の故意の反則や、サークル内で守備側が反則をすると与えられます。

攻撃側は何人でもこのプレーに参加でき、守備側はキーパーとフィールドプレイヤー4人で守らなければならないため、攻撃側はとて有利。※6人制は守備側フィールドプレイヤーは3人。

シンプルにシュート、守備側選手をかわしてのシュート、タッチシュートなど様々なバリエーションがあります。



## 滋賀のホッケーチーム「BlueSticks SHIGA」!

今年3月、米原市を拠点とする男子のクラブチーム「BlueSticks SHIGA」が発足しました! 日本のトップリーグ、高円宮杯ホッケー日本リーグでの優勝を目指し活動しています。

活動の様子はHPやYouTubeにて発信中!

その他、InstagramやFacebookでも情報発信しています。



BlueSticks SHIGA HP



YouTube





BIWAICHI  
ビワイチ

# ぐるっとびわ湖



日本最大の湖、琵琶湖一周約200kmをサイクリングする「ビワイチ」は、琵琶湖を走る爽快感と達成感は随一。2019年11月「National Cycle Route」指定されています。

200kmは、走り慣れたサイクリストなら1日で1周できますが、おすすめは2~3日かけて、自転車ならではの風を感じ、琵琶湖畔の美しい水辺景観・史跡や名所、食事をゆっくり楽しむビワイチです。

今号から3回にわたり実際にビワイチを走り、それぞれのエリアの魅力をお届けします。第1回目は、8月某日にビワイチの起点「瀬田の唐橋」から米原駅まで、左手に琵琶湖を見て「琵琶湖一周サイクリング認定証」チェックポイントを巡りながら約73kmクロスバイクのペダルを踏みました。ちなみにこの日の天候は、晴れ、最高気温33.5℃、平均気温29.1℃、湿度71%でした。

①道の駅 草津グリーンプラザからすま(約13km)



近江米や近江牛など滋賀の特産物や地元で採れた農産物など販売、特に地元近江米(コシヒカリ)を使ったおにぎりが絶品です。また、トイレや道路や地域情報の案内など24時間利用できます。

②琵琶湖マリオートホテル(約9km)



琵琶湖大橋を過ぎたところにあるマリオートホテルに到着。またビワイチをサポートするサイクルサポートステーションのジャイアントストアがあり販売・レンタル・ビワイチグッズが揃えられており、初心者にも利用しやすいショップです。無料で空気入れなどもできます。

③門前そば処 長命庵(約15km)



長命寺近くにあるそば処。薬味たっぷりの名物長命そばなどがいただけます。道中、今回唯一のアップダウンが。ちょっと早めのランチで休憩するのもいいかな。(10:00~17:00 火曜定休 詳細は(は)お店まで)

④能登川水車とカヌーランド(約8km)



東近江市の西端に位置する伊庭内湖に面した公園で、直径13mの大きな水車が雄大に回り、水車資料館も隣接しています。カヌー体験や貸ボートで伊庭内湖にも出ることができます。

⑤彦根港(約20km)



輝く水面に浮かぶいにしへの島々、ロマンあふれる島々。雄大な琵琶湖に浮かぶ神秘的な島々。琵琶湖八景のひとつ竹生島(ちくぶしま)、見る方向によって様々な島影を見せる多景島(たけしま)、神秘的島をゆっくり巡る観光船が出ています。

⑥米原駅サイクルステーション(約8km)



目の前の米原駅サイクルステーションでは、レンタルサイクルやレンタル利用者は無料でシャワー室を利用できます。有料でレンタルサイクルを米原駅サイクルステーション以外の施設に返却することも可能。ここからビワイチを始めるのもおすすめです。(詳しくはHPをご覧ください)

15時30分  
本日の目的地  
「米原駅」に到着!

## びわ湖を1周して、認定書とステッカーを!

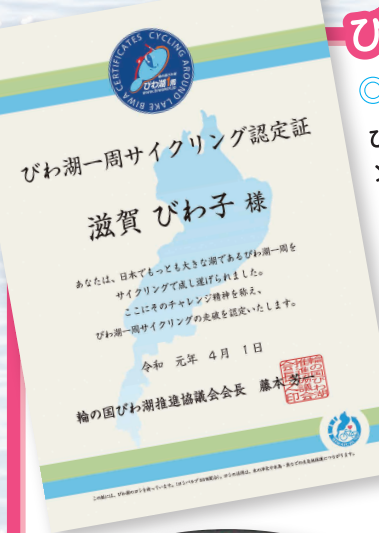
### ◎びわ湖一周サイクリング認定システム

びわ湖一周のコース上に定められた15か所のチェックポイントをチェックして回っていくものです。4か所チェックすれば認定証の申請ができます。申請には手数料(1,000円)がかかります。



詳しくはHPをご覧ください

- スマートフォンで「びわ湖一周認定証システム」にアクセスし登録しましょう。
- 各チェックポイントには場所にちなんだ3択のクイズ載ったポスターがあります。
- システムを起動し、「チェックする」を選択し、クイズに回答すると「チェック」が完了します。
- どのチェックポイントからでもスタートできます。



「瀬田の唐橋」を朝9時に出発!



ちょっと寄り道しませんか!

マリオートホテルの向かい第二なぎさ公園に「琵琶湖サイクリスト聖地の碑」があり、ビワイチを訪れるサイクリストの安全と、ビワイチを楽しんでもらえるよう折願されています。この碑のモデルとなっているのは元新体操選手でモデルの「田中セシル」さんです。田中セシルさんが初めて琵琶湖を走った時、あまりにも気持ちよく取ったポーズだそうです。

マリオートホテルから近江八幡方面に走ってすぐ、野洲川沿いの道にもフォトスポットがあります。ビワイチの記念にちょっと寄り道してみましょう!

彦根城のお堀にかかる京橋からすぐ。白壁と黒格子の町屋風に統一された町並みは江戸時代の城下町をイメージしたものです。地元ならではのグルメや商品を扱うお店が軒を並べています。少し足を伸ばして彦根城と一緒に散策してはどうですか。(長曾根北の交差点を右折すると便利)

●次回は、米原～高島間を紹介します!